

方針と重点	市の基本施策	学校の教育目標	資質・能力を育てたい	基本施策との関わり	本年度新たな学校の重点	具体的な実践内容または観点 (手立てとしてどうか、または達成度はどうか)	評価 A S D	分析と改善点
方針・重点・郷土高山に根ざし、未来を切り拓くための資質・能力を育む	①深い学び②地域性③生きる力④協働・地域社会への発信	志考動	より良いものを求めて考え、自分から動く力(課題発見・解決能力)	学びづくり	① 主体的に学び、変容を自覚できる授業づくり	1) 教師がファシリテーターとして、生徒が主体的に追究する授業を推進する。(校内研究会の充実) 2) 授業力向上のために、1人1回授業公開を行い、教師間で学び合う場を設定する。	B	・授業力向上を目指し、全研など授業公開を通して、指導方法を学び合うことができた。次年度に向け、教師がファシリテーターとしてどんな指導や支援ができるか、さらに研究していく。
					③ 探究的な総合的な学習「Forever Kiyomi」	1) 生徒全員が個人テーマをもち、地域社会に向けて自分なりの発信ができる学習を行う。 2) 地域の人材、資源を生かした小中9年間を見通したカリキュラムをつくる。	B	・「Forever Kiyomi」の取組を充実させるために、地域講師から学んだり、地域のために何ができるのかを考え発表したりすることができた。次年度は貢献活動と発信を大事にして、さらに充実させる。
					② その子の困り感に寄り添う特別支援教育	1) 卒業後の進路を見据え、その子につけるべき力に寄り添った指導を行う。 2) 支援の必要な生徒に対し、チームで連携し適切な対応を行う。(情報共有・共通指導・適切な役割分担)	A	・保護者との懇談を定期的に行ったり、医療機関などの外部機関と連携したりするなど、その子の状況やニーズに合わせた支援をチームで行うことができた。
				生き方・居場所づくり	② なりたい自分へ「努力と挑戦の積み重ね」	1) 「チーム担任制」を生かし、PDCAの指導過程の工夫と丁寧な見届けを行う。 2) 個の努力と達成度を共有・認め合う場を設定する。(意図的計画的な学活の時間)	A	・「チーム担任制」の充実を目指し、毎週数回の作戦会議や普段の職員間の対話を通して、生徒の様子や学級の動き等の情報共有をし、チームで指導や支援を行った。
					② 協働し願いを実現する楽しさを実感する特別活動	1) PDCAによる実践と変容の可視化を行う。 2) 自分で考え自分から行動できる姿を目指し、全ての職員が、「どうしたいの?」と問う指導、行動の値打ちやそこに至る思い等を語る指導を行う。	A	・「なりたい自分」の評価シートを工夫し、個の努力や達成度を自他で評価することで、認め合うことができた。
					② 誰もが大切にされる安心・安全の学校	1) 毎週の作戦会議と、職員室での対話を通して、職員間の情報共有を行う。(「チーム担任制」のメリットを生かす) 2) 校内教育支援センター「みなほルーム」での個別支援を充実させる。(生徒と保護者が安心できる場所に)	A	・学校目標「志考動」の姿を目指し、生徒会の意義を考えさせたり、活動の企画運営を任せたりするなど、自分で考え行動する場面を多くつくることができた。
				地域との協働・連携	③ 人権タウンミーティング等の人権教育の実践と発信	1) 人権教育の実践の発信を行う。(学校だより・諸会議での報告) 2) 持続可能な人権意識を高めるための人権タウンミーティングの内容の見つめ直しと改善を行う。	A	・「みなほルーム」を5名の生徒が活用し、その子の状況やニーズに応じた支援をすることができた。生徒にとって、安心して過ごせる場所になり、学級復帰や学校復帰につながることができた。
					③ 保小中連携	1) 保小中間の切れ目のない支援体制づくりのため、児童生徒や行事・活動等の情報共有を密に行う。 2) 連携した危機管理体制づくりを行う。(合同引き渡し訓練、災害時の情報共有と連携)	A	・「人権タウンミーティング」を開催することができ、昨年度よりも保護者や地域の方の参加者が増えた。
					③ 町内行事への参画による地域貢献	1) 生徒会による清見町文化祭の企画運営参画を行う。 2) ふるさと祭り等へのボランティア参加を推進する。	B	・4月中旬に保小中の合同引き渡し訓練を行い、災害時の動きを確認するなど、連携した危機管理体制を整えることができた。
								・学校運営協議会を保小中で開催し、児童生徒の様子や園・学校の動きを共有を行うことで、清見の子どもたちを連携して育てる意識をもつことができた。

学校運営協議会における主な評価内容

- ・学校が目指している「生徒が自分で考え自分で行動する姿」が、行事や授業の姿に表れている。
- ・生徒が生き生きと活動しており、楽しく学校生活を送っていると感じる。
- ・チーム担任制によって、多くの先生が生徒に直接関わることが、ずっと同じ仲間関係の集団にとって、よい影響を与えることになると思う。これからさらに少人数になっていくので、その状況を生かした教育をしていってほしい。